

令和3年 1学期始業式の話

令和3年度が始まりました。皆さん、進級おめでとうございます。

明後日8日は入学式で、1年生が加わり、3学年がそろいます。昨年、入学式は6月2日に3回に分けて行いましたが、今年は1回で行います。今、第四波が来ると言われていますが、皆さんで感染症対策に努め、できる限り、通常に活動を行っていきたいと思うので、今年も協力をお願いします。

さて、令和3年度のスタートにあたって、「目指す生徒像」についてお話したいと思います。

私は白山中学校に着任してから3年目になりますが、先生たちからよく聞くのが、皆さんの目標をもって頑張る姿、周りの人を大切にすることへの心掛けがとてもいいということです。そして、皆さんの頑張りに、次のような生徒を目指してほしいと考えました。

1. 挑戦し、努力し続ける忍耐力と行動力を持った生徒
2. 自分と他の人の命を大切に、優しさあふれる生徒
3. 人のために役に立つことを進んで行う生徒

1番目の忍耐力と行動力は、「諦めたらそこで試合終了」ということです。辛いことがあっても、ハングリー精神を発揮して続けることで、「自分にはできる」という本物の自信が生まれてくると思います。そういう強さを育ててほしいと思います。

2番目の「人の命を大切にすることと優しさ」を育ててほしいということは、昨年度の先輩が残してくれた「優しさ」という強さを伝統として残し、人を差別したり、人の悪口を言ったりしない風土を作してほしいということです。今、日本や世界では貧困や紛争、差別問題があり、命を奪い合うことにもなっています。差別の意識は誰の中にもあり、誰も自分の言動にどきとした経験があるのではないのでしょうか。能力や男女の差、経済的なもの、身体的な特徴、価値観の違いなどがお互いありますが、金子みすずさんの詩「私と小鳥と鈴と」のように「みんな違ってみんないい」精神で互いの違いを認め合う仲間になるよう、努力をしていってください。

3番目の「人のために役に立つ」ということですが、マザーテレサは「この世の最大の不幸は、貧しさや病ではありません。だれからも自分は必要とされていない、と感じることです。」と言っています。必要とされず、存在を認められないことは不幸ですが、必要とされることは幸せへの一歩だと思います。自分から幸せの一歩を歩んでもらいたいと思います。今まで、たくさんの生徒が自分からボランティア活動に参加したり、「手伝いましょうか」とか「何かやれることはありますか」とさりげなく人を助ける人がいました。学校内だけでなく、学校外でも地域や社会に貢献できる姿が生まれてくることを期待しています。

今、自分はどのくらいできているかを考え、1年後に少し成長できているといいですね。

学級に戻ったら、今まで話したことのない人とも自分から話しかけて、最初の一歩を始めてください。話しかけられたら、相手の気持ちを受け止めてくださいね。

では、今年一年が皆さんにとって、素晴らしい一年になるようお願い、式辞といたします。

校長 佐藤 知代